

(19) 日本国特許庁(JP)

## (12) 特許公報(B2)

(11) 特許番号

特許第5057563号  
(P5057563)

(45) 発行日 平成24年10月24日(2012.10.24)

(24) 登録日 平成24年8月10日(2012.8.10)

(51) Int.Cl.	F 1
G 06 F   3/048	(2006.01)   G 06 F   3/048   6 5 6 A
G 06 F   3/14	(2006.01)   G 06 F   3/14   3 6 0 A
G 06 F   12/00	(2006.01)   G 06 F   12/00   5 1 5 B
H 04 N   5/91	(2006.01)   G 06 F   12/00   5 2 0 E H 04 N   5/91                   Z

請求項の数 10 (全 15 頁)

(21) 出願番号 特願2007-27370 (P2007-27370)  
 (22) 出願日 平成19年2月6日 (2007.2.6)  
 (65) 公開番号 特開2008-192013 (P2008-192013A)  
 (43) 公開日 平成20年8月21日 (2008.8.21)  
 審査請求日 平成22年2月2日 (2010.2.2)

(73) 特許権者 000001007  
 キヤノン株式会社  
 東京都大田区下丸子3丁目30番2号  
 (74) 代理人 100076428  
 弁理士 大塚 康徳  
 (74) 代理人 100112508  
 弁理士 高柳 司郎  
 (74) 代理人 100115071  
 弁理士 大塚 康弘  
 (74) 代理人 100116894  
 弁理士 木村 秀二  
 (72) 発明者 菊地 徹  
 東京都大田区下丸子3丁目30番2号 キ  
 ャノン株式会社内

最終頁に続く

(54) 【発明の名称】表示画像制御装置及びその制御方法

## (57) 【特許請求の範囲】

## 【請求項 1】

複数のコンテンツを各コンテンツに付与され且つ複数の属性種別に分類される属性情報に基づいて表示させる表示画像制御装置の制御方法であって、

第1の記憶制御手段が、第1の属性種別に分類される属性情報が並べられ且つ各並び順が互いに異なる複数の並び順を第1の記憶手段に記憶させる第1の記憶制御工程と、

第2の記憶制御手段が、第2の属性種別に分類される属性情報と前記第1の記憶手段に記憶させた前記複数の並び順の1つとを関連付ける関連付け情報を第2の記憶手段に記憶させる第2の記憶制御工程と、

表示制御手段が、前記複数のコンテンツを注目コンテンツに基づいて表示制御する表示制御工程と、

生成手段が、前記表示制御工程において前記複数のコンテンツが表示されている状態で、並び順を変更する際に、前記注目コンテンツに付与され且つ前記第2の属性種別に分類される属性情報と、前記第2の記憶手段に記憶させた関連付け情報をに基づいて決定される並び順の1つに従って前記複数のコンテンツの表示画面を生成する生成工程と、

を有することを特徴とする表示画像制御装置の制御方法。

## 【請求項 2】

前記生成工程で生成した前記複数のコンテンツの表示画面を表示手段に表示させる表示工程を更に有することを特徴とする請求項1に記載の表示画像制御装置の制御方法。

## 【請求項 3】

10

20

前記第1の属性種別に分類される属性情報をグループ化し、グループ化された属性情報の前記複数の並び順を前記第1の記憶手段に記憶させることを特徴とする請求項1又は2に記載の表示画像制御装置の制御方法。

**【請求項4】**

前記第2の属性種別に分類される属性情報をグループ化し、グループ化された属性情報と前記第1の記憶手段に記憶させた前記複数の並び順の1つとを関連付ける関連付け情報を前記第2の記憶手段に記憶させることを特徴とする請求項1又は2に記載の表示画像制御装置の制御方法。

**【請求項5】**

前記複数のコンテンツの表示画面から任意のコンテンツをユーザに選択させる選択工程を更に有することを特徴とする請求項2に記載の表示画像制御装置の制御方法。 10

**【請求項6】**

前記選択工程では、前記複数のコンテンツの表示画面から選択させる条件として前記第1の属性種別に分類される属性情報を選択させることを特徴とする請求項5に記載の表示画像制御装置の制御方法。

**【請求項7】**

前記複数のコンテンツの表示画面の状態が変更された後に、該表示画面の状態を変更させるための操作が一定時間行われなかった場合、前記生成工程で前記複数のコンテンツの表示画面を生成することを特徴とする請求項1に記載の表示画像制御装置の制御方法。

**【請求項8】**

複数のコンテンツを各コンテンツに付与され且つ複数の属性種別に分類される属性情報に基づいて表示させる表示画像制御装置であって、

第1の属性種別に分類される属性情報が並べられ且つ各並び順が互いに異なる複数の並び順を第1の記憶手段に記憶させる第1の記憶制御手段と、

第2の属性種別に分類される属性情報と前記第1の記憶手段に記憶させた前記複数の並び順の1つとを関連付ける関連付け情報を第2の記憶手段に記憶させる第2の記憶制御手段と、

前記複数のコンテンツを注目コンテンツに基づいて表示制御する表示制御手段と、

前記表示制御手段によって前記複数のコンテンツが表示されている状態で、並び順を変更する際に、前記注目コンテンツに付与され且つ前記第2の属性種別に分類される属性情報と、前記第2の記憶手段に記憶させた関連付け情報をに基づいて決定される並び順の1つに従って前記複数のコンテンツの表示画面を生成する生成手段と、 30

を有することを特徴とする表示画像制御装置。

**【請求項9】**

請求項1に記載の表示画像制御装置の制御方法をコンピュータに実行させるためのプログラム。

**【請求項10】**

請求項9に記載のプログラムを格納したコンピュータ読み取り可能な記憶媒体。

**【発明の詳細な説明】**

**【技術分野】**

**【0001】**

本発明は、複数のコンテンツを各コンテンツに付与され且つ複数の属性種別に分類される属性情報に基づいて表示させる技術に関するものである。

**【背景技術】**

**【0002】**

近年、デジタルカメラ、デジタルビデオカメラ、デジタルビデオディスクレコーダ、薄型テレビ等のデジタル家電の普及が急速に進んでいる。これらデジタル家電では、静止画、動画等のコンテンツデータが作成、或いは閲覧される。

**【0003】**

また、セットトップボックス( STB )等を介してパーソナルコンピュータ( PC )と 50

連携し、P Cで作成された文書データ、プレゼンテーションデータ、グラフィックデータ等もデジタル家電で閲覧できるようになりつつある。

#### 【0004】

そして、記憶メディアの大容量、低価格化に伴い、これらコンテンツの数は増加の一途を辿っている。

#### 【0005】

このような増大するコンテンツをユーザがデジタル家電で閲覧するためには、単純で、かつ、効率的な閲覧方法が望まれている。

#### 【0006】

そこで、ユーザがコンテンツを効率的に利用可能にするために、各画像に付帯した付帯情報から関連情報を抽出し、グループ化してグループ単位で画像を表示し、所望の画像を速やかに検索し易くする方法が知られている。特許文献1参照。10

#### 【0007】

また、シソーラス辞書を用いて階層化し、階層化された分類毎に当てはまるキーワードの重要度を求め、その重要度により分類内においてソートを行い、重要度の高いものから表示を行う方法が知られている。特許文献2参照。

#### 【0008】

また、分類とキーワードが一致するキーワードの総数を求め、その総数によりソートを行い、登録されているキーワードの高いものから表示を行う方法が知られている。特許文献2参照。20

【特許文献1】特開2004-013575号公報

【特許文献2】特開2004-139401号公報

#### 【発明の開示】

##### 【発明が解決しようとする課題】

#### 【0009】

しかしながら、上述の従来技術では、分類の並び順が固定的となるため、並び順が閲覧に適していない場合には、スクロールやページ送りといった移動量が増大してしまう、という問題がある。

#### 【0010】

例えば、画像コンテンツに被写体となる人物の情報を属性情報として付与し、人物順でソートを行うとする。「A君」の「釣り旅行」の画像コンテンツを閲覧中に、釣り仲間の「M君」のコンテンツが見たい場合、人物順でソートを行い、「A君」から「M君」まで移動する。ここで、単純化のために、固定的なアルファベット及び五十音順で画像コンテンツがソートされるとすると、「A君」から「M君」までの間には多くの人物が存在することが予想される。30

#### 【0011】

また、「A君」の「修学旅行」の画像コンテンツを閲覧中に、学校時代の友人の「S君」のコンテンツが見たくなった場合、同様に人物順でソートを行い「A君」から「S君」まで移動する。この場合も同様に、多くの移動が必要となることが予想される。

#### 【0012】

本発明は、任意の属性種別の属性情報を他の属性種別の属性情報の並び順に関連付けておき、その並び順に基づいて複数のコンテンツを配列して表示画面を生成することを目的とする。

##### 【課題を解決するための手段】

#### 【0013】

本発明は、複数のコンテンツを各コンテンツに付与され且つ複数の属性種別に分類される属性情報に基づいて表示させる表示画像制御装置の制御方法であって、

第1の記憶制御手段が、第1の属性種別に分類される属性情報が並べられ且つ各並び順が互いに異なる複数の並び順を第1の記憶手段に記憶させる第1の記憶制御工程と、

第2の記憶制御手段が、第2の属性種別に分類される属性情報と前記第1の記憶手段に40

50

記憶させた前記複数の並び順の1つとを関連付ける関連付け情報を第2の記憶手段に記憶させる第2の記憶制御工程と、

表示制御手段が、前記複数のコンテンツを注目コンテンツに基づいて表示制御する表示制御工程と、

生成手段が、前記表示制御工程において前記複数のコンテンツが表示されている状態で、並び順を変更する際に、前記注目コンテンツに付与され且つ前記第2の属性種別に分類される属性情報と、前記第2の記憶手段に記憶させた関連付け情報とに基づいて決定される並び順の1つに従って前記複数のコンテンツの表示画面を生成する生成工程と、

を有することを特徴とする。

#### 【0014】

10

また、本発明は、複数のコンテンツを各コンテンツに付与され且つ複数の属性種別に分類される属性情報に基づいて表示させる表示画像制御装置であって、

第1の属性種別に分類される属性情報が並べられ且つ各並び順が互いに異なる複数の並び順を第1の記憶手段に記憶させる第1の記憶制御手段と、

第2の属性種別に分類される属性情報と前記第1の記憶手段に記憶させた前記複数の並び順の1つとを関連付ける関連付け情報を第2の記憶手段に記憶させる第2の記憶制御手段と、

前記複数のコンテンツを注目コンテンツに基づいて表示制御する表示制御手段と、

前記表示制御手段によって前記複数のコンテンツが表示されている状態で、並び順を変更する際に、前記注目コンテンツに付与され且つ前記第2の属性種別に分類される属性情報と、前記第2の記憶手段に記憶させた関連付け情報とに基づいて決定される並び順の1つに従って前記複数のコンテンツの表示画面を生成する生成手段と、

を有することを特徴とする。

#### 【発明の効果】

#### 【0015】

20

本発明によれば、任意の属性種別の属性情報を他の属性種別の属性情報の並び順に関連付けておき、その並び順に基づいて複数のコンテンツを配列して表示画面を生成することができる。

#### 【発明を実施するための最良の形態】

#### 【0016】

30

以下、図面を参照しながら発明を実施するための最良の形態について詳細に説明する。尚、以下の実施形態では、表示画像制御装置として、複数のコンテンツをディスプレイに表示し、ユーザが所望のコンテンツを閲覧するデータ閲覧装置を例に説明する。

#### 【0017】

##### [第1の実施形態]

図1は、第1の実施形態におけるデータ閲覧装置のハードウェア構成の一例を示す図である。図1に示すように、データ閲覧装置100はCPU101、ROM102、RAM103、ディスプレイインターフェース104、赤外線インターフェース105、及びハードディスクドライブ(HDD)106から構成される。

#### 【0018】

40

CPU101は、オペレーティングシステム(以下、OS)の制御の下、後述する処理プログラムを実行すると共に、データ閲覧装置100全体を制御する。ROM102には、CPU101が電源投入時に実行するプログラムや各種制御データが格納されている。RAM103には、各処理プログラム、各種デバイスドライバなどが実行時に展開され、CPU101によって実行される。

#### 【0019】

ディスプレイインターフェース104は、不図示のディスプレイドライバからの画面情報をディスプレイ110が処理可能な信号に変換し出力する。赤外線インターフェース105は、赤外線リモコン120からの赤外線信号を受信し、不図示の赤外線リモコンドライバが処理可能な情報に変換する。

50

**【0020】**

そして、HDD106には、OS、本発明に係る処理プログラム、各種情報、デバイスドライバなどが記憶されている。

**【0021】**

尚、特に断らない限り、他図を用いて説明されたものには同一の符号を付し、その説明を省略する。

**【0022】**

図2は、第1の実施形態におけるデータ閲覧装置の機能構成の一例を示す図である。図2に示すように、データ閲覧装置100はコンテンツ情報記憶部201、並び順情報記憶部202、関連付け情報記憶部203、表示画面制御部204、コンテンツ配列読出し部205、並び順選択部206、及び並び順情報読出し部207から構成される。10

**【0023】**

ここで、コンテンツ情報記憶部201、並び順情報記憶部202、関連付け情報記憶部203は、それぞれHDD106の記憶領域に確保され、詳細は後述するコンテンツ情報(図5)、並び順情報(図6)、関連付け情報(図7)を記憶する。

**【0024】**

表示画面制御部204は、コンテンツ配列読出し部205からのコンテンツ配列(詳細は図8を用いて後述する)に基づいて、図3に示すユーザインターフェース画面を形成し、ディスプレイ110に表示する。また、表示画面制御部204は、赤外線リモコン120からの操作入力を取得し、操作入力に応じてコンテンツ配列読出し部205を介してコンテンツ配列(図8)を取得し、表示画面の状態を更新する。20

**【0025】**

コンテンツ配列読出し部205は、表示画面制御部204からの要求に応じて、コンテンツ情報記憶部201のコンテンツ情報(図5)からコンテンツ配列(図8)を形成し、表示画面制御部204に返す。

**【0026】**

ここで、コンテンツ配列読出し部205は、表示画面制御部204から得られた注目コンテンツのイベント属性情報に基づき、並び順選択部206を介して人物の並び順を識別する人物順IDを取得する。

**【0027】**

また、コンテンツ配列読出し部205は、並び順選択部206で選択された人物順IDに基づき、並び順情報読出し部207から並び順情報(図6)を取得する。30

**【0028】**

また、コンテンツ配列読出し部205は、並び順情報読出し部207から得られた並び順情報(図6)に基づき、コンテンツ情報記憶部201よりコンテンツ情報501を取得し、コンテンツ配列(図8)を形成する。

**【0029】**

並び順選択部206は、関連付け情報記憶部203に記憶された関連付け情報(図7)に基づき、コンテンツ配列読出し部205から指定されるイベント属性情報に対応する人物順IDを読み出し、コンテンツ配列読出し部205に返す。40

**【0030】**

並び順情報読出し部207は、コンテンツ配列読出し部205から指定された人物順IDに対応する並び順情報(図6)を並び順情報記憶部202から読み出し、コンテンツ配列読出し部205に返す。

**【0031】**

図3は、第1の実施形態におけるユーザインターフェース画面の一例を示す図である。図3に示すように、ユーザインターフェース画面300には、詳細は後述するコンテンツ配列(図8)に基づきサムネイル301、302、303が配置される。

**【0032】**

ここで、中央のサムネイル301は他のサムネイル302、303より大きいサイズで50

表示され、このサムネイルに対応するコンテンツを注目コンテンツと呼ぶ。

【0033】

304は注目コンテンツ(サムネイル301)の属性情報であり、この例では人物属性情報が「A君」、イベント属性情報が「釣り旅行」である。305はサムネイル301、302に対応するコンテンツの属性情報であり、この例では「A君」という人物属性情報である。306はサムネイル303に対応するコンテンツの属性情報であり、この例では「M君」という人物属性情報である。

【0034】

307、308は横スクロールボタンであり、赤外線リモコン120の左右ボタンに対応し、サムネイル301、302、303を横スクロールさせる。309は「人物順」ボタンであり、コンテンツを人物順に表示させるか否かを指定する。ここでは、「人物順」ボタン309のON/OFFで指定を切り替えるものとする。尚、マウスなどで画面上のボタンを指示するものであっても構わない。

10

【0035】

尚、ユーザインターフェース画面300は一例を示したものであり、コンテンツの配列に基づく表示であれば同様の効果が得られる。

【0036】

図4は、第1の実施形態における赤外線リモコン120の一例を示す図である。図4に示す赤外線リモコン120は、右スクロールを指示する右ボタン402、左スクロールを指示する左ボタン401、人物順表示のオン/オフを切り替える人物順ボタン403から構成される。

20

【0037】

尚、赤外線リモコン120は一例を示したものであり、配置、ボタンの名称等、これに限定されるものではない。

【0038】

図5は、第1の実施形態におけるコンテンツ情報の一例を示す図である。図5に示すように、コンテンツ情報501には、コンテンツIDと、日付、人物、及びイベントの属性種別に分類される属性情報と、コンテンツファイル名情報と、サムネイルファイル名情報とが含まれる。そして、このコンテンツ情報501はコンテンツ情報記憶部201に記憶される。

30

【0039】

例えば、コンテンツIDが“photo1”であるコンテンツは、日付、人物、及びイベントの属性種別に分類される属性情報として“2006-01-15”、“A君”、及び“釣り旅行”を持つ。更に、コンテンツの実体となるファイルのファイル名は“contents/photo1.jpg”、サムネイルのファイル名は“thum/photo1\_thum.jpg”となる。

【0040】

尚、第1の実施形態のコンテンツ情報501は一例を示したものであり、各情報の構成や名称、値等、これに限定されるものではない。

【0041】

また、コンテンツを分類する属性種別として、日付、人物、イベントを例に挙げて説明するが、他の属性種別でコンテンツを分類しても良い。更に、コンテンツをサムネイルで表示しているが、そのコンテンツを表すアイコンで表示しても良い。

40

【0042】

図6は、第1の実施形態における並び順情報の一例を示す図である。図6に示すように、601は並び順情報であり、釣り仲間である“A君”、“M君”、“T君”、…が近傍に配置されるように予め構成された人物の並び順である。この例では、人物順IDとして“人物順1”が付与されている。602も並び順情報であり、この例は学校の友人である“A君”、“S君”、“T君”、…が近傍に配置されるように予め構成された人物の並び順である。並び順情報601と同様に、人物順IDとして“人物順2”が付与されている。そして、並び順情報601及び602は並び順情報記憶部202に記憶される。

50

**【 0 0 4 3 】**

尚、第1の実施形態の並び順情報601及び602は一例を示したものであり、近傍に配置させる条件、並び順情報の数、人物順IDの表現方法等、これに限定されるものではない。

**【 0 0 4 4 】**

図7は、第1の実施形態における関連付け情報の一例を示す図である。図7において、701は関連付け情報であり、関連付け条件と人物順IDから構成される。ここで、関連付け条件の「イベント＝“釣り旅行”」はイベントに分類される属性情報が「釣り旅行」を示している。また、この例では、人物順IDが“人物順1”である並び順情報601が関連付けられている。10

**【 0 0 4 5 】**

尚、第1の実施形態の関連付け情報701は一例を示したものであり、これに限定されるものではない。

**【 0 0 4 6 】**

図8は、第1の実施形態におけるコンテンツ配列の一例を示す図である。図8において、801は並び順情報601に基づくコンテンツ配列を示し、802は並び順情報602に基づくコンテンツ配列を示している。

**【 0 0 4 7 】**

コンテンツ配列801は、並び順情報601の並び順“A君”、“M君”、“T君”、…、に従って“A君”的コンテンツ“photo1”、“photo2”、…、“M君”的コンテンツ“photo3”、…を順に配列したものである。20

**【 0 0 4 8 】**

また、コンテンツ配列802は、並び順情報602の並び順“A君”、“S君”、“T君”、…、に従って“A君”的コンテンツ“photo1”、“photo2”、…、“S君”的コンテンツ“photo4”、…を順に配列したものである。

**【 0 0 4 9 】**

つまり、コンテンツ配列801は、図3に示すように、人物がA君で、イベントが釣り旅行のコンテンツを注目コンテンツとして表示するためのコンテンツ配列である。また、コンテンツ配列802は、人物がA君で、イベントが修学旅行（文化祭）のコンテンツを注目コンテンツとして表示するためのコンテンツ配列である。30

**【 0 0 5 0 】**

尚、第1の実施形態のコンテンツ配列801及び802は一例を示したものであり、これに限定されるものではない。

**【 0 0 5 1 】**

ここで、データ閲覧装置100のCPU101が実行する表示画面制御部204の処理を、図9を用いて説明する。

**【 0 0 5 2 】**

図9は、第1の実施形態における表示画面制御部204の処理を示すフローチャートである。処理が開始されると、予め定められたコンテンツや前回の操作で注目コンテンツとして表示したコンテンツを注目コンテンツに初期設定し、人物順ソートのON/OFFを初期値（例えば、OFF）に設定する（S901）。次に、人物順ソートがONかOFFかを判定し、OFFの場合（S902でNo）、コンテンツ情報501を日付順でソートしたコンテンツ配列を生成する（S903）。

**【 0 0 5 3 】**

一方、S902で人物順ソートがONの場合（S902でYes）、注目コンテンツのイベント属性情報を読み出し（S911）、関連付け情報701に基づきイベント属性情報に対応する人物順IDを選択する（S912）。次に、その人物順IDに対応する並び順情報601又は602を読み出し（S913）、その並び順情報601又は602に基づきコンテンツ情報501を読み出してコンテンツ配列を生成する（S914）。

**【 0 0 5 4 】**1020304050

次に、上述の S 9 0 3 又は S 9 1 4 で生成したコンテンツ配列に基づき注目コンテンツが中心となるようユーザインタフェース画面 3 0 0 を構成し、ディスプレイ 1 1 0 に表示する (S 9 0 4)。その後、赤外線リモコン 1 2 0 のボタンが操作されたのを検出すると、その操作が人物順ボタン 4 0 3 であれば (S 9 0 5 で Yes)、人物順ソートの ON / OFF 設定を変更する (S 9 2 1)。そして、上述の S 9 0 2 に戻る。

#### 【0055】

また、S 9 0 5 で、検出した操作が人物順ボタン 4 0 3 ではなく (S 9 0 5 で No)、左ボタン 4 0 1 又は右ボタン 4 0 2 であれば (S 9 0 6 で Yes)、ボタン操作に基づいて注目コンテンツを変更し、表示画面を更新する (S 9 3 1)。そして、人物順ソートが OFF でなく、かつ、一定時間内にボタン操作がなければ (S 9 1 0 で No)、上述した S 9 1 1 へ進む。10

#### 【0056】

一方、S 9 1 0 で、人物順ソートが OFF 又はボタン操作があれば (S 9 1 0 で Yes)、上述の S 9 0 5 に戻る。

#### 【0057】

第 1 の実施形態によれば、注目コンテンツのイベントに関連付けた人物の並び順を選択し、コンテンツ配列を生成するため、注目コンテンツと関連性の高い人物を近傍配置した人物順の表示を容易に行うことができる。

#### 【0058】

また、人物順ソート表示中の左右ボタン操作によるスクロールで注目コンテンツが変更された場合には、一定時間経過した後に自動的に並べ替えを行うため、再表示操作の手間が省ける。20

#### 【0059】

##### [ 第 2 の実施形態 ]

次に、図面を参照しながら本発明に係る第 2 の実施形態を詳細に説明する。尚、ハードウェア構成は、図 1 を用いて説明した第 1 の実施形態と同様である。また、ユーザインタフェース画面は、図 3 を用いて説明した第 1 の実施形態と同様である。また、赤外線リモコンは、図 4 を用いて説明した第 1 の実施形態と同様である。

#### 【0060】

また、コンテンツ情報は、図 5 を用いて説明した第 1 の実施形態と同様である。また、関連付け情報は、図 7 を用いて説明した第 1 の実施形態と同様である。また、コンテンツ配列は、図 8 を用いて説明した第 1 の実施形態と同様である。また、処理は、図 9 を用いて説明した第 1 の実施形態と同様である。30

#### 【0061】

図 1 0 は、第 2 の実施形態におけるデータ閲覧装置の機能構成の一例を示す図である。図 1 0 に示すように、データ閲覧装置 1 0 0 は、第 1 の実施形態で説明した、コンテンツ情報記憶部 2 0 1 、関連付け情報記憶部 2 0 3 、表示画面制御部 2 0 4 、コンテンツ配列読出し部 2 0 5 、並び順選択部 2 0 6 を含む。更に、並び順情報記憶部 1 0 0 2 、並び順情報読出し部 1 0 0 7 、人物グループ情報記憶部 1 0 1 0 から構成される。

#### 【0062】

ここで、並び順情報記憶部 1 0 0 2 、人物グループ情報記憶部 1 0 1 0 は、他の構成と同様に H D D 1 0 6 の記憶領域に確保され、詳細は後述する並び順情報 (図 1 2 )、人物グループ情報 (図 1 1 ) を記憶する。40

#### 【0063】

並び順情報読出し部 1 0 0 7 は、人物順 ID に対応する並び順情報 1 2 0 1 又は 1 2 0 2 を、並び順情報記憶部 1 0 0 2 から読み出し、人物グループ情報 1 1 0 1 ~ 1 1 0 6 に基づき並び順情報を更新し、コンテンツ配列読出し部 2 0 5 に返す。

#### 【0064】

第 2 の実施形態では、人物毎に人物が属している人物グループをグループ化し、人物の追加や削除を容易に行えるようにしたものである。50

**【0065】**

図11は、第2の実施形態における人物グループ情報の一例を示す図である。図11において、人物グループ情報1101は“A君”が人物グループ“釣り仲間”、“校友人”、“テニス仲間”、“家族”、…に属していることを示し、1102、1103、1104、1105、1106に関しても同様である。

**【0066】**

尚、第2の実施形態の人物グループ情報1101～1106は一例を示しており、これに限定されるものではない。また、シソーラス辞書などを用いてグループ化を規定しても良い。

**【0067】**

図12は、第2の実施形態における並び順情報の一例を示す図である。図12において、並び順情報1201は、人物順IDが“人物順1”で、人物順の人物グループに“釣り仲間”を含むコンテンツを並べ、続いて人物グループに“釣り仲間”を含まないコンテンツを並べることを示している。

**【0068】**

また、並び順情報1202は、人物順IDが“人物順2”で、人物順の人物グループに“校友人”を含むコンテンツを並べ、続いて人物グループに“校友人”を含まないコンテンツを並べることを示している。

**【0069】**

また、並び順情報1201、1202及び人物グループ情報1101～1106に基づき、第1の実施形態で図6を用いて説明したように、実際の人物の並び順情報が適宜作成される。

**【0070】**

尚、第2の実施形態の並び順情報1201及び1202は一例であり、これに限定されるものではない。例えば、「人物グループに“釣り仲間”を含みかつ“校友人”を含む」等の複合的な条件であっても良い。

**【0071】**

第2の実施形態によれば、実際の人物の並び順情報が適宜作成されるため、人物の追加や削除を行っても、並び順情報記憶部1002に記憶される並び順情報を変更する必要がない。

**【0072】****[第3の実施形態]**

次に、図面を参照しながら本発明に係る第3の実施形態を詳細に説明する。尚、ハードウェア構成は、図1を用いて説明した第1の実施形態と同様である。また、ユーザインターフェース画面は、図3を用いて説明した第1の実施形態と同様である。また、赤外線リモコンは、図4を用いて説明した第1の実施形態と同様である。

**【0073】**

また、コンテンツ情報は、図5を用いて説明した第1の実施形態と同様である。また、並び順情報は、図6を用いて説明した第1の実施形態と同様である。また、コンテンツ配列は、図8を用いて説明した第1の実施形態と同様である。また、処理は、図9を用いて説明した第1の実施形態と同様である。

**【0074】**

図13は、第3の実施形態におけるデータ閲覧装置の機能構成の一例を示す図である。図13に示すように、データ閲覧装置100は、第1の実施形態で説明した、コンテンツ情報記憶部201、並び順情報記憶部202、表示画面制御部204、コンテンツ配列読み出し部205、並び順情報読み出し部207を含む。更に、関連付け情報記憶部1303、並び順選択部1306、イベントグループ情報記憶部1310から構成される。

**【0075】**

ここで、関連付け情報記憶部1303、イベントグループ情報記憶部1310は、他の構成と同様にHDD106の記憶領域に確保され、詳細は後述する関連付け情報(図15

10

20

30

40

50

)、イベントグループ情報(図14)を記憶する。

【0076】

並び順選択部1306は、イベントに対応する人物順IDを、イベント情報1301～1304及び関連付け情報1501から読み出し、コンテンツ配列読み出し部205に返す。

【0077】

第3の実施形態では、人物が属するグループ毎にイベントをグループ化し、イベントの追加や削除を容易に行えるようにしたものである。

【0078】

図14は、第3の実施形態におけるイベントグループ情報の一例を示す図である。図14において、イベントグループ情報1401は“釣り旅行”、“釣り大会”、…が“釣り仲間”イベントグループに属していることを示し、1402、1403、1404に関しても同様である。10

【0079】

尚、第3の実施形態のイベントグループ情報1401～1404は一例を示しており、これに限定されるものではない。

【0080】

図15は、第3の実施形態における関連付け情報の一例を示す図である。図15において、関連付け情報1501は関連付け条件と人物IDから構成される。また、“釣り仲間”イベントグループに属するイベントは“人物順1”に、“学校友人”イベントグループに属するイベントは“人物順2”に関連付けされることを示している。20

【0081】

尚、第3の実施形態の関連付け情報1501は一例を示しており、これに限定されるものではない。また、シソーラス辞書等を用いてグループ化を規定しても良い。

【0082】

第3の実施形態によれば、イベントグループと人物グループの並び順情報を関連付けておくので、イベントの追加や削除を行っても、関連付け情報記憶部1303の関連付け情報を変更する必要がない。

【0083】

尚、本発明は複数の機器(例えば、ホストコンピュータ、インターフェース機器、リーダ、プリンタなど)から構成されるシステムに適用しても、1つの機器からなる装置(例えば、複写機、ファクシミリ装置など)に適用しても良い。30

【0084】

また、前述した実施形態の機能を実現するソフトウェアのプログラムコードを記録した記録媒体を、システム或いは装置に供給し、そのシステム或いは装置のコンピュータ(CPU若しくはMPU)が記録媒体に格納されたプログラムコードを読み出し実行する。これによっても、本発明の目的が達成されることは言うまでもない。

【0085】

この場合、記録媒体から読み出されたプログラムコード自身が前述した実施形態の機能を実現することになり、そのプログラムコードを記憶した記録媒体は本発明を構成することになる。40

【0086】

このプログラムコードを供給するための記録媒体として、例えばフレキシブルディスク、ハードディスク、光ディスク、光磁気ディスク、CD-ROM、CD-R、磁気テープ、不揮発性のメモリカード、ROMなどを用いることができる。

【0087】

また、コンピュータが読み出したプログラムコードを実行することにより、前述した実施形態の機能が実現されるだけでなく、次の場合も含まれることは言うまでもない。即ち、プログラムコードの指示に基づき、コンピュータ上で稼働しているOS(オペレーティングシステム)などが実際の処理の一部又は全部を行い、その処理により前述した実施形態の機能が実現される場合である。50

## 【0088】

更に、記録媒体から読み出されたプログラムコードがコンピュータに挿入された機能拡張ボードやコンピュータに接続された機能拡張ユニットに備わるメモリに書込む。その後、そのプログラムコードの指示に基づき、その機能拡張ボードや機能拡張ユニットに備わるCPUなどが実際の処理の一部又は全部を行い、その処理により前述した実施形態の機能が実現される場合も含まれることは言うまでもない。

## 【図面の簡単な説明】

## 【0089】

【図1】第1の実施形態におけるデータ閲覧装置のハードウェア構成の一例を示す図である。10

【図2】第1の実施形態におけるデータ閲覧装置の機能構成の一例を示す図である。

【図3】第1の実施形態におけるユーザインターフェース画面の一例を示す図である。

【図4】第1の実施形態における赤外線リモコン120の一例を示す図である。

【図5】第1の実施形態におけるコンテンツ情報の一例を示す図である。

【図6】第1の実施形態における並び順情報の一例を示す図である。

【図7】第1の実施形態における関連付け情報の一例を示す図である。

【図8】第1の実施形態におけるコンテンツ配列の一例を示す図である。

【図9】第1の実施形態における表示画面制御部204の処理を示すフローチャートである。

【図10】第2の実施形態におけるデータ閲覧装置の機能構成の一例を示す図である。20

【図11】第2の実施形態における人物グループ情報の一例を示す図である。

【図12】第2の実施形態における並び順情報の一例を示す図である。

【図13】第3の実施形態におけるデータ閲覧装置の機能構成の一例を示す図である。

【図14】第3の実施形態におけるイベントグループ情報の一例を示す図である。

【図15】第3の実施形態における関連付け情報の一例を示す図である。

## 【符号の説明】

## 【0090】

100 データ閲覧装置

101 CPU

102 ROM

103 RAM

104 ディスプレイインタフェース

105 赤外線インタフェース

106 ハードディスクドライブ(HDD)

201 コンテンツ情報記憶部

202 並び順情報記憶部

203 関連付け情報記憶部

204 表示画面制御部

205 コンテンツ配列読出し部

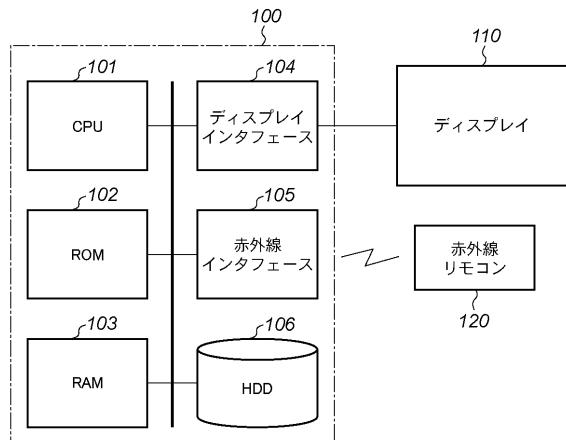
206 並び順選択部

207 並び順情報読出し部

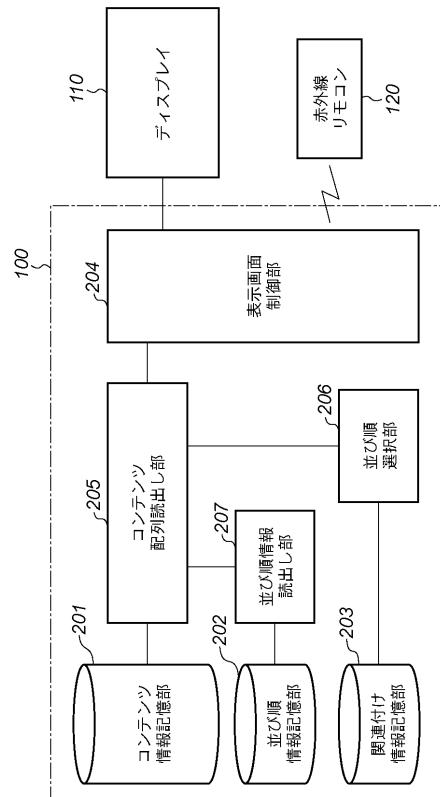
30

40

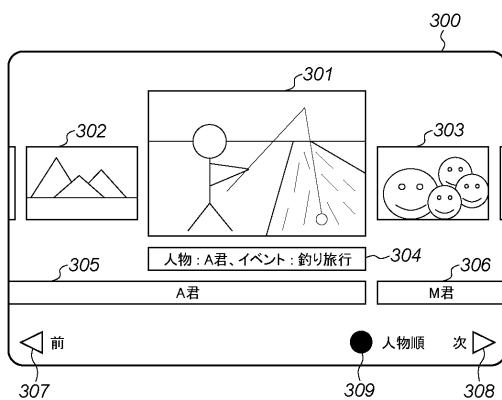
【図1】



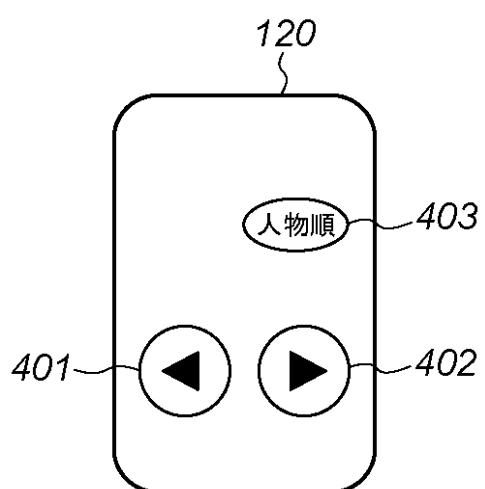
【図2】



【図3】



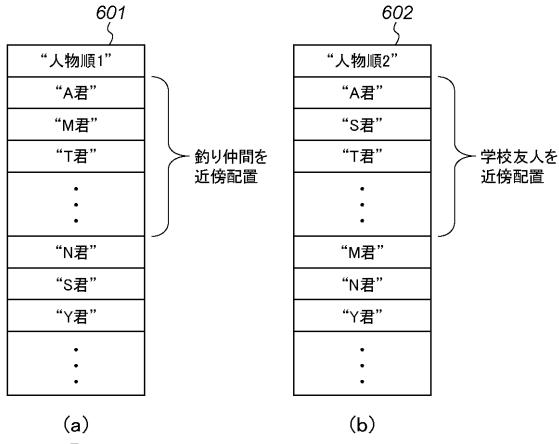
【図4】



〔 四 5 〕

コンテンツID	日付	人物	イベント	コンテンツファイル名	サムネイルファイル名
"photo1"	"2008-01-15"	"A君"	"釣り旅行"	"contents/photo1.jpg"	"thumb/thumb1.thum.jpg"
"photo2"	"2008-01-10"	"A君"	"修学旅行"	"contents/photo2.jpg"	"thumb/thumb2.thum.jpg"
"photo3"	"2008-02-23"	"M君"	"釣り大会"	"contents/photo3.jpg"	"thumb/thumb3.thum.jpg"
"photo4"	"2008-10-05"	"S君"	"文化祭"	"contents/photo4.jpg"	"thumb/thumb4.thum.jpg"
"photo5"	"2008-01-10"	"N君"	"テニス大会"	"contents/photo5.jpg"	"thumb/thumb5.thum.jpg"
"photo6"	"2008-01-15"	"T君"	"釣り旅行"	"contents/photo6.jpg"	"thumb/thumb6.thum.jpg"
"photo7"	"2008-10-05"	"T君"	"文化祭"	"contents/photo7.jpg"	"thumb/thumb7.thum.jpg"
"photo8"	"2008-02-21"	"Y君"	"家族旅行"	"contents/photo8.jpg"	"thumb/thumb8.thum.jpg"
•	•	•	•	•	•
•	•	•	•	•	•

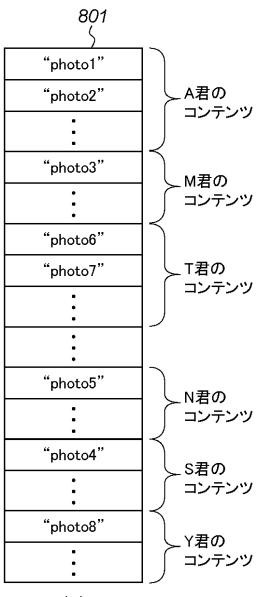
【図6】



【 図 7 】

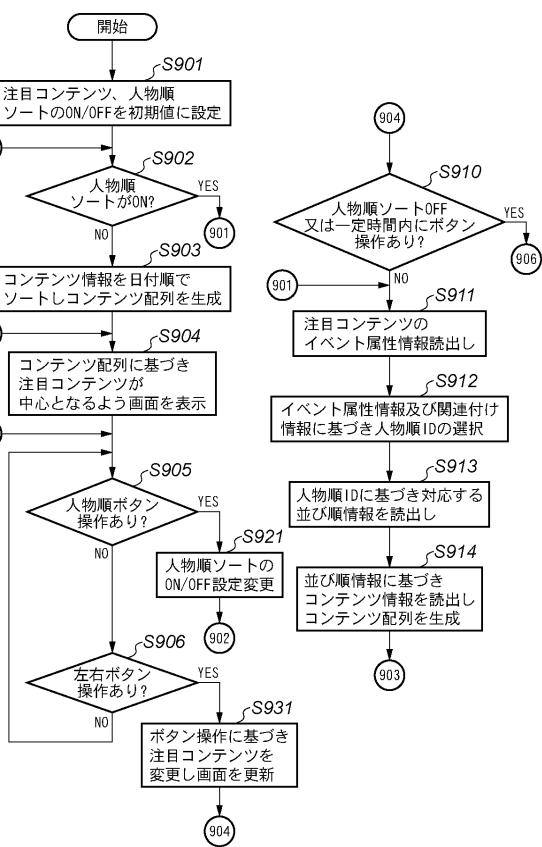
関連付け条件	人物順ID
イベント=“釣り旅行”	“人物順1”
イベント=“修学旅行”	“人物順2”
イベント=“文化祭”	“人物順2”
⋮	⋮

【 叁 8 】

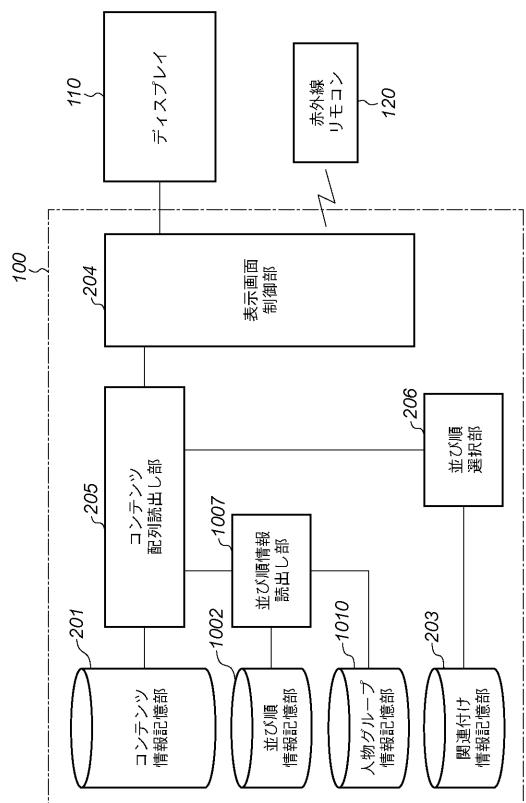


802
“photo1”
“photo2”
⋮
“photo4”
⋮
“photo6”
“photo7”
⋮
⋮
“photo3”
⋮
“photo5”
⋮
“photo8”
⋮

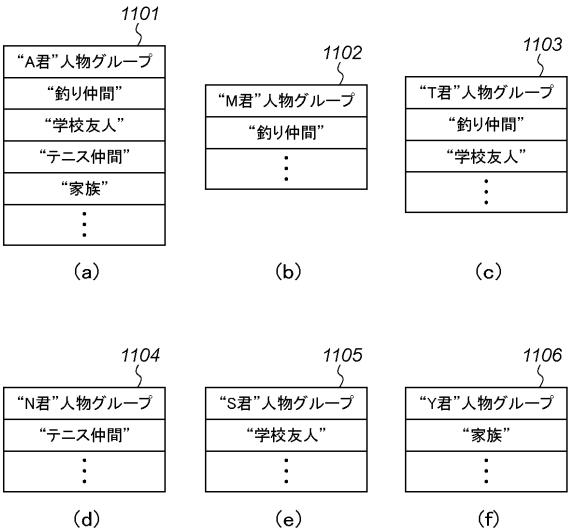
【図9】



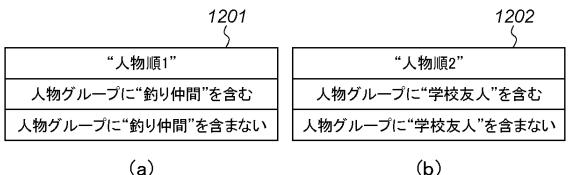
【図10】



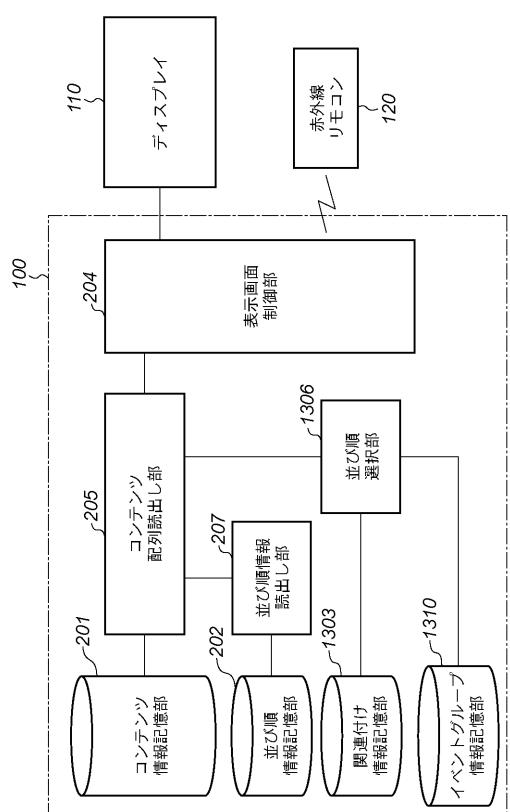
【図11】



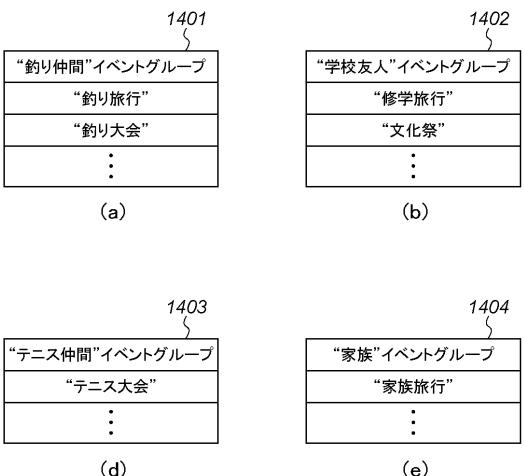
【図12】



【図13】



【図14】



【図15】

Table 15 illustrating association conditions and IDs:

関連付け条件	人物順ID
イベントグループ=“釣り仲間”	“人物順1”
イベントグループ=“学校友人”	“人物順2”
⋮	⋮
⋮	⋮

---

フロントページの続き

審査官 田中 秀樹

(56)参考文献 特開2004-013575(JP,A)

特開平09-305619(JP,A)

特開2001-243232(JP,A)

特開平04-074270(JP,A)

(58)調査した分野(Int.Cl., DB名)

G 06 F 3 / 01, 3 / 048, 12 / 00, 17 / 30